

令和4年度

第2回

「学校運営協議会」議事録

〔開催にあたって〕

1 開催日時：令和4年11月28日（月）10：30～13：00

仲本小学校 二階会議室

2 委員の出欠席：別紙のとおり

〔委員会議事〕

開会宣言

1 本年度の取組状況について

2 学校評価について

「令和4年度 さいたま市立仲本小学校のアンケート結果」の報告

3 熟議「コミュニケーション力、自分で考えて行動できる力を身に付

けさせるために、中間報告をもとにした今後の取組について」

事務連絡

1 さいたま市「ながら見守り」ボランティア募集について

2 次回の開催予定 等

閉会宣言

12：05～12：20 [いじめ対策委員会]

12：20～13：00 [給食試食]

令和4年度 第2回「学校運営協議会」議事録

〔開催にあたって〕

- 1 開催日時：令和4年11月28日（月） 午前10時30分～12時
- 2 委員の出欠席

〔出席委員（敬称略）〕

芹澤妙子（本太一丁目自治会長）、佐々木 弘（前地自治会長）、山内 鞠（同窓会長）、内田勝也（青少年育成仲本地区会長）、三上憲治（東仲町自治会長）、佐藤麻里（原山中学校PTA副会長）、安蒜志津香（仲本小学校PTA会長）、南 香織（仲本小学校PTA副会長）、小坂佐紀（主任児童委員）、宇佐見弘幸（校長）、西田将司（教頭）、橋本マキ（教務担当教諭）、大久保公子（事務主幹）、秦野昌明（学校地域連携コーディネーター）

〔欠席委員〕

なし

〔委員会の議事〕

- 1 委嘱状交付（芹澤委員）
- 2 安蒜副委員長により委員会の司会、進行
- 3 芹澤委員長により開会宣言
- 4 西田教頭により本年度の取組状況の概要報告がされる。
- 5 橋本教諭により「令和4年度 さいたま市立仲本小学校のアンケート結果」の報告がされる（資料参照）。
- 6 熟 議

開始にあたり、「コミュニケーション力、自分で考えて行動できる力を身に付けさせるために、中間報告をもとにした今後の取組について」、①学習指導、②豊かな心・たくましい体、③コミュニティスクール・開かれた学校、④教職員の資質向上等の視点をもとに「成果」と「課題」等を話し合うという主旨説明が行われた。

(1) 安蒜副委員長の進行で熟議が始まる。

各班の委員は次のとおり（敬称等略）。

1班： 芹澤妙子・安蒜志津香・三上憲治・橋本マキ

2班： 佐々木 弘・南 香織・大久保公子

3班： 山内 鞠・小坂佐紀・秦野昌明

4班： 内田勝也・佐藤麻里・西田将司

(2) 熟議は4つの班で活発に行われた。各班で出された意見は次のとおり。

1班：〔成果〕①「あいさつ・見守り活動（登校時に増えた）」

〔課題〕①「下校時等のあいさつ等の改善を」（地域への啓発、あいさつ運動の分析を行う（誰に・どの程度・学年差 等々））

②「地域とのつながり（コロナ禍での行事の激減に対する対処。情報の発信を紙・デジタル等々で工夫する）」

2班：〔成果〕①「あいさつ運動（缶バッジの製作、活用効果が大い。一つの課題を協働で取り組んだ意義は大い）」

〔課題〕①「保護者等への啓発が必要」

②「地域活動の充実（あいさつ運動を地域全体へ拡大する。児童のコミュニケーション力を地域で育てる。地域活動の継続化と内容の伝承のために複数の人材で取り組む）」

③「タブレットの有効活用（家庭での活用策を）」

3班：〔成果〕①「学習機会の向上（児童の案による「なかモコ」の誕生・活用・進化。地域との協働で高齢者・障がい者等への理解等が広がっている。タブレットの活用が進んでいる）」

②「地域との協働で思いやり・豊かな心づくり（児童が自発的にドングリ山の清掃活動に参画。地域人材の活用で昔を知り現在を見渡す目が育っている）」

③「開かれた学校、地域との協働（地域教育資源の提供、記録化・活用策）」

④「教職員等の資質向上を図る（③を活用し知識等の蓄積・継承を考える）」

〔課題〕 ①「学習時の対応(学習の格差の是正と理解の遅い児童への対応をどうするか)」

②「開かれた学校に向けての更なる協働(地域コミュニケーションの促進

地域とのつながり不足の改善、啓発活動の促進)」

4班：〔成果〕 ①「あいさつ・見守り活動(缶バッジの製作、活用効果大きい)」

②「デジタル学習が進んでいる(タブレットの有効活用、操作方法や諸教材の活用)」

③「情報発信(学校・家庭・地域の情報の共有化が進んでいる、学校に足が向くよい環境)」

④「居心地(生活環境・人間関係が良い、自ら解決が図れる学習環境)」

〔課題〕 ①「あいさつ運動の充実(啓発活動の促進)」

②「デジタル学習の熟考(家庭での活用策を)」

③「開かれた学校を目指す情報発信(地域への情報発信、学校公開等の促進)」

④「いじめ問題への取組(いじめ解決への更なる努力を、見えにくい処に光を当てる努力を)」

(3) 熟議のまとめ

時間が足りないほどの熱心な熟議が行われ、その後 各班の発表がなされた。各班の発表を受け、委員からは ①あいさつ運動の大きな成果と共に同運動の継続・啓発の必要性、②タブレットの有効活用と家庭等における活用策を考える、③情報発信の工夫と学校・家庭・地域の情報共有化を図る、④諸行事をもとに地域との協働で開かれた学校を目指す ⑤児童が活躍、褒められる場等を設ける、⑥児童が地域の行事に参画、活性化の一助になれる機会を考える 等々が提言された。

〔事務連絡〕

(1) さいたま市「ながら見守り」ボランティア募集の告知。

(2) 次回「学校運営協議会」は令和5年2月13日(月)を予定している。

7 閉会